

科目名	アメリカ史概説	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	越智 敏夫		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-330013	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	アメリカ合衆国の現在を作り上げてきた歴史的経緯を確認することによって、その国民形成のプロセスを理解する。多様な集団によって構成されているアメリカにおいて、一元的な政治統合を可能にしている条件について多角的に検討する。また、現在の社会的・経済的格差が生じた政治的・文化的背景、さらにその解決のための施策についても考察する。				
学修到達目標	アメリカ社会の歴史的特質を総体的かつ相対的に理解する。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	1 はじめに 2 北米植民地の形成 2-1 近代世界の成立
第2回	2-2 西洋列強による侵略以前の北米大陸 2-3 西洋列強の海外発展
第3回	2-4 コロンブス：発見か到達か

第4回	2-5 イギリスによる北アメリカ植民 2-6 植民者像の転換
第5回	3 独立 3-1 独立戦争 3-2 独立宣言
第6回	3-3 アメリカ合衆国憲法
第7回	4 移民国家の基本原則 4-1 市民から排除された人々
第8回	4-2 アメリカ合衆国発展の特徴 4-3 市民となった人々
第9回	5 移民国家の拡大 5-1 領土の拡大 5-2 南北戦争
第10回	5-3 ゴールドラッシュと移民規制法の発生 5-4 1924年移民法
第11回	6 移民国家の変質 6-1 大恐慌 6-2 第二次世界大戦
第12回	6-3 戦後の冷戦構造 6-4 キューバ危機とベトナム戦争
第13回	7 多元的社会的統合 7-1 人種問題と公民権運動

第14回	7-2 1965年移民法 7-5 多文化主義
第15回	8 まとめ：オバマ政権、トランプ政権、バイデン政権
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間 配布資料の予習
【復習】時間・内容	2時間 講義内容の確認、配布資料における事前の不明点の理解

成績評価	
評価基準・方法	成績評価については期末試験の点数のみで評価する。
フィードバック方法	講義内容によっては、講義終了時に受講生にコメントカードを提出してもらいますが、それらへのフィードバックとして、次回講義中、必ずその記述内容に対する教員側の意見を公表する時間を確保する。また、講義全体のフィードバックとしては、定期試験採点后、各年度の答案に共通してみられる傾向や問題点などに関して公開の必要があると判断されたものについて、教員個人のウェブサイト上で公表する。またそれらの傾向や問題点が特に重要で、全受講生に告知する必要があると認められる場合には、大学ポータルサイトの一斉メール配信システムを利用して全受講生に告知する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	教科書なし。各回2～3枚のレジュメ、図版を本学ポータルサイトにアップロードするので、講義前に各自でダウンロード、印刷して教室に持参すること。参考文献は講義中に適宜指示する。また図書館のサイトの「指定図書リスト」を参照のこと。
受講上の留意点等	アメリカ関連のもっとも基礎的な科目である。また近代ヨーロッパ史に関心をもっていることが望ましい。
JABEE	